

通し番号	章・節・頁等	質問等(要約・項目毎に分割)	回答	備考
1	・全般	・図表が多いですが、白黒ではわかりにくい図表はカラー頁化も考えてほしい。	・H31年3月当学会より発行予定の「建築火災安全設計の考え方と基礎知識」及び同講習会を参照ください。 ・予算の制約により白黒印刷となりました。	
2	・全般	・現状での指針類、耐火・避難安全検証法と今回の資料の扱いはどのように考えると考えればいいのか？ ・こちらに記載されている算定式は全て性能評定等において、引用可能と考えてよいか？ ・計算事例、計算プログラムの組み方を明記した資料集も併せて作成して頂きたい。	・記載した算定式等は技術内容を説明するために記載したのですが、数式の適用可能条件に適えば性能評価等に使用することも可能です。但し、最終的な法律等との整合は実際の行政庁や確認検査機関等との協議で確認することが必要です。 ・計算手法・計算プログラム等の詳細は、当圖書の対象外と考えています。因みに、2018.03に当学会より「火災性状予測計算ハンドブック」が出版されています。	
3	・全般	・火災安全設計の考え方をういて、どのような建築物や設計が優良なのかを示して頂くと嬉しい。	・火災安全設計における秀でた物件を紹介する公的制度は現状ではないと思われま。目的は異なりますが、日本建築センター様や日本建築総合試験所様の会誌での防災性能評価案件の紹介記事がある程度相当するのではないかと考えられます。	
4	・全般	・本書と、過去の建築防災書籍との違いについて記述してはどうか。	・H31年3月当学会より発行予定の「建築火災安全設計の考え方と基礎知識」及び同講習会を参照ください。 ・本書の序文に示しています。	
5	・全般	・別章の関連項目との紐付けをしてはいいかがか。関連する内容が、章を横断して記載されている。	・H31年3月当学会より発行予定の「建築火災安全設計の考え方と基礎知識」及び同講習会を参照ください。	
6	・全般	・各章の最後に参考文献があるが、必読図書を別枠で掲載してはどうか。	・同上	
7	・1章	・1-1-1統計からみる火災の現状において、建物階数が14階以下に抑えられる傾向について非常用EVの設置規定も影響があるのではないか。	・同上	
8	・1章	・火災と法改正について、明確な関係はないのではないか。	・従来の法改正は火災事例に要因を持つことがほとんどといってもいいです。但し、法改正には相当な審議・準備期間が必要となるため、火災事例と改正時期にはタイムラグがあることが多いです。	
9	・1章、2章	・図1-14と式2-2とを紐づけてはどうか	・関連度合いから、不要と考えます。	
10	・2章	・火災荷重の実測はどのように測定したものか？ ・建物改修時に避難安全検証法を適用する機会が増えているが、使用中の部屋の収納可燃物から設計発熱量を導く際の参考としたい。	・火災荷重の実測は、簡単に言えば収納可燃物の重量を測定し、それに単位発熱量を乗じて求めている。 ・使用中の室も収納可燃物量はその室の標準的な用途による設定になると考えるが、もし部屋の発熱量をより詳細に求めようとする、火災荷重の実測と基本的に同様な積算をする必要があると思われま。	
11	・3章	・誤記あり(「日本建地区センター」など)	・修正対応	
12	・4章	・耐火建築物の外壁表面に外断熱材等を施す場合として、発泡プラスチック系の外装を施すことも可能とされているが、屋外避難階段等での避難との整合性はどのように考えればいいのか？	・H31年3月当学会より発行予定の「建築火災安全設計の考え方と基礎知識」及び同講習会を参照ください。	
13	・4章	・既存建物に外断熱層を付加する場合の確認申請の必要性は？ ・主要構造部である外壁の過半の改装であれば大規模改修に当るのか？ ・厚い断熱材と法規上の床面積等との関係は？	・学会の部会として法規制の運用に言及できる立場にありませんので、実際の案件に応じて行政庁等と協議をしてください。	

14	・6章	・自然排煙方式の排煙口(手動)は、実際に開放されるのかという疑問もあるので、最も有効な排煙方式についての所感を本書に盛り込んで欲しい。	・H31年3月当学会より発行予定の「建築火災安全設計の考え方と基礎知識」及び同講習会を参照ください。	
15	・6章	・6章6-3-1自然排煙の開口部高さについて、給気的重要性に併せて高さの高い開口部を設けることが有効であることを追記してはどうか。	・同上	
16	・6章	・6章6-7煙制御作動機構の位置、自火報との連動、排煙口の位置等についての注意点も追記してはどうか。	・同上	
17	・7章	・BCP対策についての設計注意点 ・ホテルでの海外人対策の考慮点 ・民泊の今後ハード面・ソフト面で追加すべき仕様はどのようなものか。	・同上	
18	・7章	・自火報・非常放送等について、メーカーに求める新機能はどのようなものか。	・学会の部会として、意見を言う立場にありません。	
19	・7章	・火災安全設計において秀でた物件の紹介をしてほしい。	・No3と同様。	
20	・7章	・7章7-2-2避難経路の明快性について、避難誘導等に関しての記述を増やしてはどうか。	・H31年3月当学会より発行予定の「建築火災安全設計の考え方と基礎知識」及び同講習会を参照ください。	
21	・7章	・誤記あり(雑階段→避難階段、など)	・修正対応	
22	・7章	・7章7-3-1在館者の特性について、本文解説にはない用途についてもプロットしてはどうか。	・H31年3月当学会より発行予定の「建築火災安全設計の考え方と基礎知識」及び同講習会を参照ください。	
23	・7章	・7章7-4-4籠城区画について、床の耐火性能などについても言及してはどうか。	・同上	
24	・7章	・7章7-4-5共同住宅・バルコニーの役割について隣戸避難についても言及してはどうか。	・同上	